

中田かわら版 6 月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■中田連合自治会総会（4 月 28 日）を終えて

四期目続投 上原敏博会長に聞く

宮田：久しぶりに総会を傍聴させていただきました。
今回は役員改選もあり最後までいました。改めて
会長続投のご感想は。

上原：とにかく忙しい職務ですね。仕事の範囲が広い。

宮田：連合自治会の会長として「現在どんな種類の役があるのか参考
に教えてください。」

上原：会長職だけでも 9 つ。「踊場地域ケアプラザ」「立場地区センター
和の会」「中田少年少女発明クラブ」「葛野小学校学校運営協議会」「
泉地域活動ホームかがやき運営委員会」など。他には「ロータリー
クラブ」「オアシス 21 世紀の会」「中田ジュニアマーチングバンド」
「泉区第九演奏会実行委員会」などですが相談役、代表、理事長を含めると、
さらに増える。「立教大学横浜立教会」会長も。

宮田：立教に入ったのは巨人の長嶋茂雄に憧れて、と聞いています。

上原：大ファンです。立教は人気のある六大学リーグであり最初から決めていた。
しかし腎臓の大病になり選手になるのは諦めました。

宮田：ところで会長として、いま一番関心をもっていること、やりたいことは。

上原：この地域（中田）に住んでよかったと言える「ふるさと」づくり。泉区は他の区に
比べて人口が増えている。特に若い家族が移住してくるのは嬉しいこと。
いろいろな分野で魅力ある中田を考えていきたい。

宮田：最近、新聞、テレビで大きく取り上げている大地震の問題。住民が一番心配なのは
連合自治会が具体的にどんな対策を持っているのか。食料備蓄、情報、医療などについて。

上原：東日本や能登の大規模な災害対策まではできていない。でも早急の問題であり取り
組んでいく。現在、中田地区経営委員会と協力して危機管理対策委員会を新設し、
地震、風水害、疫病などに対する備えを万全、かつ組織の統一や情報伝達の一本化
を図る体制作りはすでに進めている。連合自治会でも消防署と連携し防災訓練、各
町会での防災訓練を行っている。同時に住民の防災意識も高めていく必要がある。

宮田：「福祉避難所」の方も、しっかり考えてほしい。視覚障がい者、聴覚障がい者などの
対策だが。

上原：具体的にはまだ進んでいない。が、重要な問題なので対策を考えたい。

宮田：貴重なお話をありがとうございました。



波乱万丈の人生を経験した苦労人上原さん。素晴らしい会長をもったことを私たちは誇りに思っている。
(宮田貞夫)

■郷土歴史家・小島貞雄氏の功績 <3>

編集者という名の「小島貞雄」 宮田貞夫

「編集とは」一資料をある方針、目的の下に集め書物、雑誌、新聞などの形に整えること（広辞苑）とある。そして巻末に編集者あるいは編集筆頭者として名前が列記される。新聞社や雑誌社の整理部（係）と似ている。読者に誤りのない内容、表記・表現を提供する。具体的には誤字もなく、特定の個人や団体、地域に不快感を与えていないか、技術的には書体、級数（活字）、字間、行間、拗足字、句読点、中丸など広い知識が要求される。美しい紙面づくりには欠かせないものだ。編集（者）とはそれほど重要であり、完成の後には喜びと名誉が永久に記録される。

今回、小島氏が、関係している本、雑誌、ガイドブックなど5点に携わった人たちの名前もあえて列記した。例えば宮本忠直、小澤明夫（中田）、大橋俊雄（岡津）、有馬純雄（上飯田）氏らは泉区で戸塚区から分区した昭和60年11月までは「戸塚区歴史の会」に所属していた。泉区で「歴史の会」が発足した時は発起人として創立に貢献した人たちである

■『中和田郷土史』（正文社）348ページ。昭和48年3月25日発行（横浜市立中和田小学校創立80周年記念事業委員会）

<編集執筆者>委員長・小島貞雄、安西 實、宮本忠直、小澤明夫、宮沢 梅、小野正敏、石井民也、中野和子、上嶋栄子

■『ふるさと中田』（桜文印刷）

昭和52年11月3日発行（中田連合自治会創立10周年記念事業実行委員会）

<編集委員>宮本忠直、小島貞雄、阿部 繁、福岡正夫、清水真司、山口寅蔵、宮田貞夫

■ガイドブック『戸塚の散歩みち』204ページ。昭和53年1月25日発行（「みんなで探そう郷土歴史」実行委員会）

<編集委員>内田四方蔵、大橋俊雄、有馬純律、小島貞雄、小澤明夫、三橋景子ほか。

■『戸塚くるぶ』（歴史と風土の道しるべ）69ページ、昭和58年3月10日発行。郷土戸塚の歴史の会・戸塚区役所。なお本のタイトルにある「くるぶ」とは歩く、見る、学ぶを表している。

<編集委員>内田四方蔵、大橋俊雄、有馬純律、小島貞雄、小澤明夫、加藤正司氏ほか。

■『いずみ いまむかし』（リョーイン）220ページ。平成8年11月3日発行（泉区制10周年記念出版）泉区小史編集委員会。

<編集・執筆者>有馬純律、安西 實、大橋俊雄、関水俊道、小島貞雄、宮本忠直、斉藤多喜夫、関水宗孝。

編集後記

過疎化が言われて久しい。人口減少社会どうなっていくのだろう。先日の読売や朝日新聞朝刊に、50年までに県内6市町が消滅する可能性があるとの記事があった。三浦市や箱根町等などの名がある。ピンとくるのは少子高齢化だが、「人口戦略会議」では、20歳から39歳の若年女性人口が判断材料らしい。中田地区では原因は他にあるとしても2町会が脱会した。もっと恐ろしいことが書かれていた。全国1729自治体中自立可能は65自治体。なかなかピンときませんが。 河内満明

◎発行：中田地区経営委員会「かわら版」制作編集委員会

委員長 宮田貞夫 編集長 松本正

編集委員；山木重樹、小島敏子、田中進、河内満明、松本純子、鈴木賀津彦、嶋 宏之